

# 緊急事態発生 備えはありますか？

## —中小企業の事業継続計画（BCP）—

### 第4回：「商店街全体で取り組むBCP」

今回は、商店街全体で取り組んで小さな店舗もBCPを完備した愛知県の某商店街を紹介します。

当商店街は、1995年の阪神・淡路大震災で被災した神戸の商店街と以前から交流がありました。当商店街の役員が交流の中で痛感したことは、「被害を抑えるには、火災の発生は絶対に防がなければならない」ということです。そのためには、商店街の全ての店舗が防災に取り組む必要があります。さらに、事業を早期に復旧するためにはBCPも必要だと考えました。しかし、小さな店舗においては、必要性は感じて、BCPに取り組む余裕がありません。そこで、各店舗がやらなければならないことと、商店街全体でまとめてやることを分けることにしました。各店舗のBCPが効率的に作成できるうえ、商店街全体のBCPも作成できると考えたのです。

まず、勉強会を開催し、各店舗にBCPの中心となる「重要業務」と「復旧目標期間」を決めてもらいました。このふたつは、店舗の業種などが違うため、個々に決める必要があるからです。次に、被災後すぐに対応が求められる「救援活動」や「2次災害の防止」などをまとめて各店舗に周知する環境を整えました。こうして生まれたのが「商店街BCP掲示板」です。

掲示板には、商店街や近隣住民が被災時に必要な「災害直後の行動の目安」「主要な連絡先一覧」などが掲示されています。被災時には、平時と違って落ち着いて行動することが難しいものです。このような緊急時においては、すぐに避難場所や連絡先がわかることが重要です。また、平時から商店街の様々な場所に掲示しておくことで、各店舗の従業員やお客様の災害に対する意識も高まる効果があります。

なお、商店街において様々な連携を行うためには「勉強会での相互学習と日頃のコミュニケーションが大切である」と話されていたある店主の声が印象的でした。

（執筆：茅ヶ崎診断士チーム）

#### 【お知らせ】

9月27日（木）午後2時から、茅ヶ崎商工会議所4階でBCPセミナーを開催いたします。ぜひご参加ください。

申込先：中小企業相談所 TEL 58-1111

ホームページ「茅ヶ崎商工会議所BCP」で検索。